

2025年度 経営史学会第61回全国大会

会場

埼玉大学 大久保キャンパス 全学講義棟1号館

受付

2025年12月6日(土) 9:00～ 全学講義棟1号館2階

2025年12月7日(日) 9:00～ 全学講義棟1号館2階

会員控室・昼食・休憩

全学講義棟1号館2階 1-203

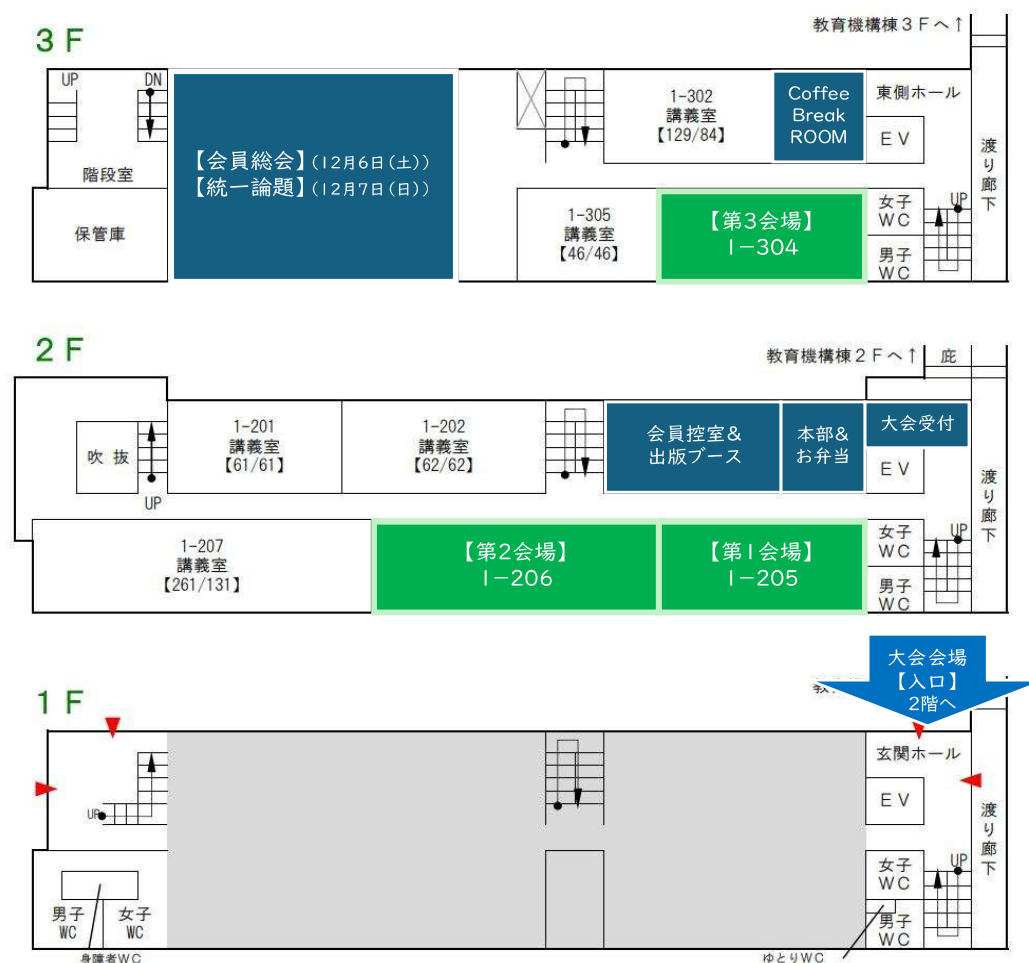
コーヒープレイク

全学講義棟1号館3階 1-303

懇親会

12月6日(土) 18:00～20:00 大学生協第2食堂

会場・キャンパスマップ



建物配置図



大会プログラム【1日目】

午前の部(9:30～)

第1会場(1-205教室)	第2会場(1-206教室)	第3会場(1-304教室)
個別報告セッション1(9:30～10:30)		
司会：菊池 航(立教大学)	司会：谷本 雅之(大妻女子大学)	司会：橘川 武郎(国際大学)
〈産業政策1〉 柳 尚潤 (蔚山大学校)・ 呂 寅満 (国立江陵原州大学校) 1970年代韓国自動車産業の発展における政府・企業間関係の再検討	〈経営史の再構想1〉 清水 剛 (東京大学) 未来を見せる装置：1920年代～30年代の日本における冷房の普及 佐藤 秀昭 (大阪大学) 昭和恐慌期東京府における商工業者の階層分析	〈経営史の再構想2〉 陳 慕薇 (北京外国語大学) 日本における経済制度の近代化：国際比較に向けた指標設計と時系列分析 瀧波 康修 (埼玉大学・院) 福島原子力発電所1号機ベントの危機対応力：不確実な状況下において人類初のベントはいかになされたのか

コーヒーブレイク(10:30～11:00)

個別報告セッション2(11:00～12:30)		会員提案企画1(11:00～12:30)
司会：稲葉 和也(山口大学)	司会：菅山 真次(東北学院大学)	
〈産業政策2〉 細井 拓真 (東北大学・院) 天下りの機能と人的ネットワーク：日本の高度成長期における石油化学工業を事例として 橋本 規之 (信州大学) 日本の機能性化学における産業政策と企業行動 JULIEN BREUZON (京都大学・院) 日本の宇宙政策と宇宙産業：産業成熟度の観点から	〈職業と資格・制度〉 水村 陽一 (日本住宅総合センター・東洋大学現代社会総合研究所) ドイツ手工業の特殊性と社会的市場経済の適用：手工業秩序法制定から2004年手工業大改革に至るまでの政策と動向の整理 吉川 英輝 (京都大学・院) 保険数理士の職業倫理：米エイズ危機と医療・生命保険引受 飯塚 陽介 (帝京大学) 民間資格制度の先駆けとその挫折：商業実務員学力検定試験の制度化過程	経営史研究における生成AIの可能性 【報告者】 1. 星野 雄介 (京都産業大学)・ 長谷部 弘道 (日本大学) 生成AIを使った定性研究の試み 2. 平尾 毅 (京都橘大学) 20世紀初頭における英国新聞のテキスト抽出・分析事例 3. 谷口 明文 (中央大学) GEの歴史資料をAIで読む 【コーディネーター】 長谷部 弘道 (日本大学)

昼休憩

(12:30～13:30)

会員提案企画2(12:30～13:30)

経営史教育の現在地：学部生の意識調査をめぐって

【報告者】

- 1.中島 裕喜(南山大学)
- 2.大島 久幸(高千穂大学)
- 3.橋口 勝利(慶応義塾大学)
- 4.佐藤 秀昭(大阪大学)

大会プログラム【1日目】

第1日目：2025年12月6日(土)

午後の部 (13:30～)		
第1会場(1-205教室)	第2会場(1-206教室)	第3会場(1-304教室)
個別報告セッション3 (13:30～15:00)		会員提案企画3 (13:30～15:00)
司会：宇田 理(青山学院大学)	司会：藤岡 里圭(東京大学)	
〈先端産業〉 石川 雅敏(ノースアジア大学) 九州大学医学部生化学教室を介した 遺伝子組換え技術の普及 黒澤 隆文(京都大学) 半導体のグローバル産業史:産業の存 在論と産業ダイナミクスの視点から 田邊 潤一郎(慶応義塾大学・院) 2000年代から2010年代前半のスマー トフォンLSI企業の開発戦略:スマー トフォンの階層構造に着目して	〈流通と市場組織〉 井原 基(埼玉大学) 中国日用品流通チャネルの発展:立白 を中心に 林 彦櫻(弘前大学) 戦後日本における流通近代化とボラン タリー・チェーン 長尾 清美(宮崎学園短期大学) 再販売価格維持行為の再考:医薬品 メーカーの再販契約における空白の8 年間	翻訳だけでは届かない:若手研究者のた めの国際ジャーナル投稿実践パネル 【オーガナイザー】 酒井 健(一橋大学・東北大学) 【司会・質問ナビゲーター】 趙 勝新(同志社大学) 【パネリスト】 1.酒井 健(一橋大学・東北大学) 2.PIERRE-YVES DONZE(大阪大学) 3.橋野 知子(神戸大学)
コーヒーブレイク(15:00～15:30)		
個別報告セッション4 (15:30～17:00)		
司会：山下 麻衣(同志社大学)	司会：兒玉 州平(大阪経済大学)	司会：川本 真哉(立教大学)
〈営利・非営利と経営〉 犬飼 菜帆(一橋大学・院) ヴィクトリア朝ロンドンの慈善病院 における小規模専門病院の競争戦略 と資金調達 NADIRE SILAMUJIANG(京都大学・ 院) ナショナル・ヘルスケア・システム からの逸脱:新興国における国際病 院の台頭と医療ツーリズムの発展 (1990年代以降) 中野 貴元(全国経理教育協会) 戦前期における神社経営の課題	〈産業史と企業行動〉 古月 翔矢(東京大学・学振PD) 「契約者国家論」再考:民間造船業者 の艦船契約とイギリスの国家形成 (1689年～1713年) 石崎 啓太(慶應義塾大学・研究員) ホンダのディーゼル事業における内製 参入と撤退の経緯(2003-2021) TOM LEARMOUTH(LSE・院) 戦間期の神戸市と久留米市のゴム産業	〈会社とは何か〉 佐藤 秀昭(大阪大学)・黒澤 隆文(京都大 学) ファミリービジネス史研究再考:家族人 類学的視点の可能性 藤田 葵(京都大学・院) 第一次企業勃興期に至る時期の会社によ る北海道農業経営:2つの「農業会社」 の比較を通じて
会員総会(17:10～17:55)		
全学講義棟1号館3階 1-301		
懇親会(18:00～20:00)		
大学生協第2食堂		

大会プログラム【2日目】

第2日目：2025年12月7日(日)

午前の部（9：30～）

統一論題(9：30～12：00) 全学講義棟1号館 1－301教室

戦前・戦後の埼玉産業経営史

【企画者】 阿部 武司（大阪大学・名） 【司 会】 大石 直樹（埼玉大学）

【報告者】 1.阿部 武司(大阪大学・名)
近現代における埼玉県下主要企業の変遷
2.老川 慶喜(立教大学・名)
チンチン電車（川越～大宮間12.9km）の経営史
3.中西 啓太(東京大学)
明治・大正期煉瓦製造業者の経営判断と埼玉という立地
4.佐々木 聡(明治大学)
『流通革命』論と埼玉県の日用品・化粧品卸売企業:麻友の事例を中心に

【コメンテーター】 1.伊藤 修(埼玉大学・名)
2.今泉 飛鳥(東京大学)
3.齋藤 邦明(東洋大学)

昼休憩

(12：00～13：00)

会員提案企画4（12：00～13：00）

第3会場（1－304教室）

実践セミナー

子育てと経営史研究の両立

【報告者】

1.佐藤 秀昭(大阪大学)
2.呉 賛(名古屋外国語大学)

午後の部（13：00～）

第1会場(1－205教室)

第2会場(1－206教室)

第3会場(1－304教室)

個別報告セッション5（13：00～15：00）

パネル報告セッション

司会：長谷部 弘道(日本大学)

司会：田中 彰(京都大学)

(13：00～16：00)

〈技術開発と人材・管理〉

畠山 裕士郎(明治大学・院)
ジョン・スカリー期のアップル・コンピュータ社における製品開発体制の変容と収益悪化：開発過程と技術人材の流出に着目して
高梨 透(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)
ITシステムの開発・運用の外部化と内部化の揺れ動きとその諸条件
宮田 憲一(明治大学)
戦後GEにおける企業内大学の設立とプロフェッショナル・マネジャー育成の展開
北澤 満(九州大学)
明治後期中小鉱業経営における労務管理: 大阪鉱業株式会社を事例として

〈多角化と組織構造〉

島本 実(一橋大学)・金 成美(県立広島大学)・遠藤 寛士(麗澤大学)
IT企業の発展パターン:米日韓の比較
BAICK KYUHYUN(京都大学・院)
韓国財閥と多角化戦略：主要8財閥の趨勢を中心に
内海 京久(高知工科大学)
なぜ富士フィルムは生き残れたのか：コア事業喪失における戦略転換の歴史的ダイナミズム
大賀 健介(住友史料館・研究員)
住友本社の不動産管理部門：地所課の組織と事業

企業史料の将来と現状

【報告者】

1.井澤 龍(東京都立大学)
英米のビジネス・アーカイブズから
2.阿部 武司(大阪大学・名)
企業史料の保存への研究者の貢献
3.富士 章(花王株式会社・花王ミュージアム館長)
企業ミュージアムの立場からみたアーカイブズの重要性
4.清水 ふさ子(立教大学)
企業史料におけるアーキビストの役割

大会プログラム【2日目】

第2日目：2025年12月7日(日)

個別報告セッション6 (15:05～16:35・17:05)		
司会：前田 廉孝(慶応義塾大学)	司会：石井 晋(学習院大学)	※パネル報告セッションつづき
〈地域社会と交通〉 下高下 健介(青山学院大学・院) 両大戦間期における地方名望家の地域開発事業：青森県五戸電気鉄道を事例として 河村 徳士(城西大学) 戦間期日本小運送業における大手運送店の役割：国際通運株式会社を事例として 相川 雄哉(同志社大学) 産地の発展における人的資本と協調行動の役割：兵庫県・丹波陶磁器産地の事例、1959-2022年	〈産官学関係と教育機関〉 松林 洋一(アジア太平洋研究所)・足利 朋義(アジア太平洋研究所)・壁谷 紗代(アジア太平洋研究所) 戦前期における京都・大阪の化学産業発展と産学連携の歴史 山中 千尋(名古屋工業大学) 戦時下・占領期における「学術振興」の継続：日本学術振興会の官民協働とインキュベーション機能 金井 昌宏(明治大学・事務長) 「産学協同」から「産学連携」への転換：科学技術基本法(1995年)制定に至る政策立案上の布石 堤 悦子(北海商科大学) 高等教育機関のマネジメント：歴史的考察と説明責任	【コメンテーター】 1.大島 久幸(高千穂大学) 経営史家として、『企業史料の保存と活用』特集エディターとして 2.中園 宏幸(関西大学) 企業史料を介した経営史学者・経営学者・アーキビストの連携と将来の可能性